

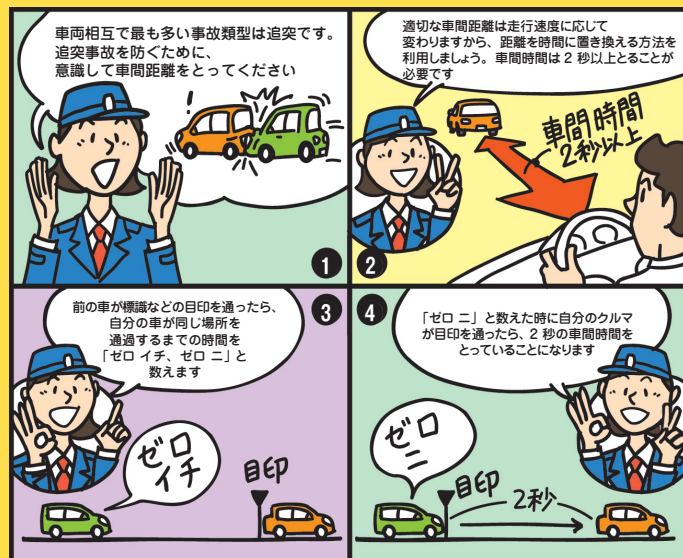
# SJクイズ ?

[問題編]

**Q1** 平成 26 年の交通事故件数を事故類型別にみると、車両相互で最も多い事故類型は次のうちどれでしょう？

- ①追突      ②出会い頭衝突      ③右折時衝突      ④左折時衝突

**Q2** クルマを走行中の前車との車間距離を車間時間に置き換えた場合、安全な車間時間は何秒以上でしょう？



**Q3** 一般道路における原付以上運転者（第 1 当事者）の交通事故件数を危険認知速度（運転者が危険を認知した時点の速度）別にみると、30km/h 以下が占める割合は次のうちどれでしょう？

- ①約 47%      ②約 57%      ③約 67%      ④約 77%

【使用上の注意】

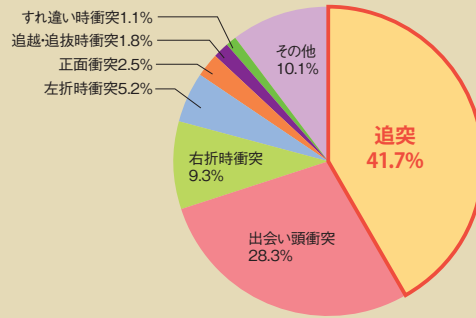
●営利目的での利用はおやめください ●内容の無断転載、無断改変、一部抜粋しての利用はおやめください ●その他、使用に関するご質問はお問い合わせください  
本田技研工業（株）安全運転普及本部 TEL:03 (5412) 1736

**Q1** 解答 ①追突

<解説>

平成 26 年の車両相互の交通事故件数（49 万 8087 件）を事故類型別にみると、最も多い事故類型は「追突」の 20 万 7485 件で 41.7% を占めている。追突事故を避けるためには、前方をよく観るのはもちろんのこと、前車との車間距離を十分にとっておく必要がある。

●車両相互の事故類型別・交通事故件数（平成 26 年・構成率）



※出典：交通統計（平成26年版）

**Q2** 解答 2 秒以上

<解説>

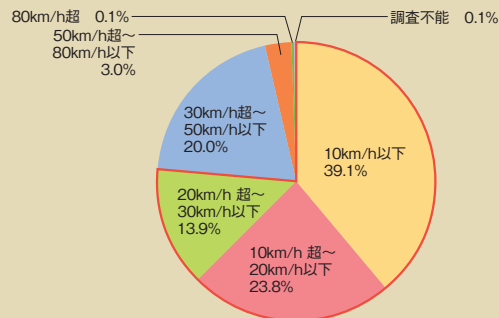
ドライバーが危険を認知してから、ブレーキを踏もうと判断し、実際に踏み込むまでの時間（反応時間）は、個人差はあるが 1 秒程度はかかり、その間にもクルマは進む（空走距離）が、さらに、ブレーキがきき始めてから停止するまでの距離（制動距離）もかかる。「空走距離」と「制動距離」を合わせた「停止距離」を考えて、危険が発生した場合でも安全に停止できるよう前車との十分な車間距離が必要だ。ただし、前車との適切な車間距離は走行速度に応じて変わる。そのため、車間時間を 2 秒以上とすることで、走行速度に応じた一定の車間距離を確保することができる。

**Q3** 解答 ④約 77%

<解説>

一般道路における原付以上運転者（第 1 当事者）の交通事故件数を危険認知速度（運転者が危険を認知した時点の速度）別にみると、30km/h 以下が 76.7% と全体の約 4 分の 3 を占めている。また、30km/h 以下でも 986 件もの死亡事故が発生している。ドライバー、ライダーは 30km/h 以下の低速域でも油断せずに、慎重な運転を心がけなければならない。

●一般道路における原付以上運転者（第 1 当事者）の危険認知速度別交通事故件数（平成 26 年・構成率）



※出典：交通統計（平成26年版）

【使用上の注意】

●営利目的での利用はおやめください ●内容の無断転載、無断改変、一部抜粋しての利用はおやめください ●その他、使用に関するご質問はお問い合わせください  
本田技研工業（株）安全運転普及本部 TEL:03 (5412) 1736